



# こうなん市議会だより

No.10 | 平成20年12月1日発行



## 9 月定例会

連合審査 .....	P2 ~ 3
各委員会審議 .....	P3 ~ 4
諸般の報告 .....	P5
一般質問 .....	P6 ~ 18
委員会視察報告 .....	P19
議案審議結果 .....	P20

発行 高知県香南市議会  
発行人 高知県香南市議会議長



平成20年

# 香南市議会9月定例会

3日から16日まで開催され、専決処分の報告7件、人権擁護委員の推薦、19年度水道事業会計決算認定など22議案が審議された。

## 連合審査

二十年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に四億四百九十八万五千円をそれぞれ追加し、総額百八十六億一千八百三十万三千円とする。

**問** 市側に100%の瑕疵の場合全額賠償するのは

賦課徴収費で賠償金について、市側に全部の瑕疵が認められたときには、こういう形で払っていくということが。

**答** 十分精査して対応する

〓 仙頭 市長

訴訟内容をみて、ケースバイケースで関係部局がこの問題を共有して対応していきたい。

**問** 公園管理は

吉川公園管理委託料百六十万円の減額は入札か。住民との話し合いがつかなければ、従来どおり市が管理すべきでは。

**答** 市民の協力を

〓 北岡 住宅都計課長

入札減で、公園が多い赤岡・吉川地区以外で、自発的に草刈り等整備をしている地域もあり、市民の力を借りて管理していきたい。

**問** 專業費増額の内容は

高規格道路関連事業で、当初予算より專業費が増額になったが内容の説明を。

**答** 詳細設計の結果

〓 久保 建設課長

農道大崎線は延長が三十メートル延び排水路等との取り合

**問** 検証目的は

香我美中学校の死亡事故の検証委員会の費用、検証目的、委員の構成メンバー、設置の遅れた理由と終了した時点での公表は。

**答** 再発防止に努める

〓 松崎 教育次長

審議は七回程度で二十一万



工事が進む高規格道路・夜須地区

円。学校や教育行政全般の課題や方策を検証し、再発防止に努める。精神科学関係にたけた医師、県の心の教育センターや小中学校の代表、スクールカウンセラー等である。設置の遅れは警察の捜査の終結が遅れたため、検証が終わった段階で、議会や関係機関に検証報告をす

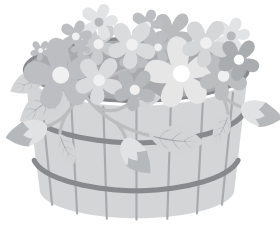
### 問 全中大会参加種目は

対外競技参加費十二万二千元は何の種目か。

### 答 バタフライ種目

松嶋 教育次長

夜須中学校の西内君が、バタフライの種目で新潟の全中大会に出場する参加費である。



## 【総務常任委員会審査】

総務常任委員会には「香南市債権管理条例」など三議案が附託された。

### 香南市債権管理条例

(全員賛成〃可決)

### 問 議会にも十分な報告を求める

最終的な決定は市長だが、議会には報告だけでなく、十分な説明を行うべきだ。

### 答 事前の相談を検討する

村山 収納課長

事前に相談を行うことを検討したい。

### 問 電算での管理をどのように行うか

滞納者は一件だけでなく多重滞納であると思うが、その整理・管理をどうするのか。また、悪質滞納者とやむなく滞納に

なっている場合とどう判断していくのか。

### 答 個人情報保護条例の中で対応する

村山 収納課長

課をまたがって情報を見る必要がある場合は、個人情報保護条例を生かし職員に制限をかけている。

また、債権の放棄については十分な調査を行い条例を踏まえ、課全体で検討する。

### 問 公平性を欠かないために要綱などの作成

処分について公平性を欠いてはならない。市として、一定の方向性をもつため要綱などを作成すべきではないか。

### 答 規則の設置を検討

村山 収納課長

条例の何に該当するか一件一件の事案を検討し、答えることができるよう処理する。規則の設置を考えている。

### 損害賠償の額の決定及び和解について

(全員賛成〃可決)

行政側の「瑕疵」により生じた問題であり、今後も同様の問題が生じる懸念がある。したがって以下の附帯決議を付けて、委員会として全員一致で可決した。

「損害賠償額の決定及び和解に



新しく設置された収納課窓口

ついて」に関する要綱の作成を求める附帯決議

この議案は、市に一〇〇%の「瑕疵」があり、相手方の請求により地方税法に基づき「過去五年間分」を還付していたが、今回、新たに相手方より国家賠償法に基づき過大徴収分について損害賠償の請求があり、和解したので議会の承認を求める議案である。

総務常任委員会の協議結果として、あつてはならないが今後、もし今回のような事件が発生した場合でも、現状では地方税法に基づき「五年間分」の還付請求しかできない。

このため本案を採決するにあたり、市に一〇〇%の「瑕疵責任」があれば、過大徴収した分は支払うことができる「要綱」を作成することを条件に総務常任委員会は全員一致で可決するべきものとする。

### 香南市一般会計補正予算第三号

(全員賛成〃可決)

## 【産業建設常任委員会審査】

産業建設常任委員会には、十九年度水道事業会計決算認定など十三議案が附託された。議案の十議案が新たに生じた土地の字の変更であり、特に問題点はなく可決された。

陳情書「香南市内電気工事業者の受注機会の拡大について」の審査結果について  
(全員反対〃不採択)

昨今の建設業界を取り巻く経済状況は厳しいものがあり、市内業者優先は理解できるが、業者指名には経営審査によるランクもあり、また陳情書を提出している香南市電気設備協会にすべての業者が加入しているわけではなく、優先的発注機会の拡大は、不公平を生ずる恐れもあるので、不採択とした。



改築された赤岡保育所

## 【教育民生常任委員会審査】

教育民生常任委員会には、保育所条例の一部を改正する条例、二十年度国民健康保険特別会計補正予算など四議案が附託された。

二十年度香南市国民健康保険特別会計補正予算について  
(賛成多数〃可決)

### 問 病床転換の予定は

高知県の病床転換の予定、また香南市関係はどうなっているか。

### 答 具体的には、まだ不明

小松 高齢者介護課長

香南市が入っている中央地域では、二十年度に目標として百八十五床、二十一年度には七百七十九床、二十二年度には七百六十床、二十三年度には九百九十六床の県の計画だ。具体的にはどこがということとは分かって

### 問 介護難民や、患者さんを視野においた対応を

病床転換については、国保だけでなく、介護保険にも関わってくる。連携しながら、介護難民や、病棟に入っている患者を視野に入れた対応を求めます。

ないが、病院側の動きが遅い。

### 答 連携を図る

小松 高齢者介護課長

介護ともからむので、いろんな連携を図る。



# 市長諸般の報告



## 自衛隊について

八月二十一日に、演習場予定地周辺の山南地区住民など四十四人で、香川県国分台演習場と松山駐屯地などの視察を行い、国分台演習場で、迫撃砲縮射弾訓練や実弾射撃訓練を視察した後、松山駐屯地で、愛媛県小野演習場周辺の住民代表と、安全対策や騒音問題などについての意見交換を行った。

また、八月二十五日には、私と議長と企画課長で中部方面総監部へ向き、演習場予定地の周囲、特に住居と隣接する場所へのフェンス設置などを申し入れてきた。今後とも、陸上自衛隊駐屯地及び演習地の整備については、住民の皆様のご理解、協力を頂きながら、取り組んでいく。



## 香南市地域情報センターについて

七月五日、道の駅やす内に、香南市地域情報センターがオープンした。一階の観光施設案内ブースでは、観光パンフレットの展示や観光DVDの放映を通じて、観光情報や地域情報を発信しており、指定管理者である株式会社ヤ・シィの職員が、来場者からの問い合わせ等に対応している。



ヤシィ・パークに設置された地域情報センター

今後、より効果的に情報提供や市のPRを行っていくため、指定管理

者及び観光協会、商工会などと連携を図りながら、観光情報・地域情報の一括発信など、施設の目的に沿ったサービスを一層充実していく。

## 埋蔵文化財について

野市町西野遺跡群で弥生時代後期末の竪穴住居跡から、銅矛の芯の一部を再加工した棒状の青銅器が一点出土している。この銅矛からの棒状青銅器は、全国でも発見例がなく、大変注目されている。

野市町では、国指定重要文化財となった平成五年の兔田八幡宮の絵画銅剣、平成十五年の北地遺跡出土の銅鏡破片に続き三例目である。

八月十五日の高知新聞では調査遺跡の報告書が作成されていないことも報道された。

当然のことながら、調査報告書の作成をもって遺跡発掘調査が完了するので、早急に人的配置等も含め調査遺跡からの出土品の内容等を検討し、年次計画を立てて、早期に調査報告書の作成を終わらせたい。

# 12月定例議会 傍聴してみませんか

12月9日(火)午前9時30分開会

詳しくは議会事務局まで

☎(0887)57-8513



● 市政を問う ●

# いっぱん質問

13人登壇

## 工業団地造成の 進捗状況と地元対応は



黒石博章議員

二十年六月二十五日の地元説明会以降の進捗状況と次の説明会はいつか。

進入道路をはじめ、地元意向に對しての対応は。

自衛隊駐屯地、工業団地での調整池は集中豪雨による被害を確実に防げるか。

**答** 理解を得られる  
計画で

久武商工水産課長

住民の意見や要望を踏まえた計画の見直しなど、関係部署が集まり県と協議している。分譲用地を広く確保し、多くの企業が立地し産業振興が図れる計画にする。

交通、排水、環境対策の要望は、可能な限り理解を得られる

計画にして、少しでも早い時期に説明会を開く。

**答** 改修要望など  
県へ要望

田内企画課長

調整池の設計は降雨規模三十年確率で計算しているが、これ以上に降った時は下流域の排水能力が機能しなくなるので、早い段階から排水機操作の徹底を図り、水害防止に努める。  
山南川の改修要望や浚渫は県へ要望していく。

**問** 食育総合給食  
センター設立を

幼稚園、小中学校の一元化を図り、災害時の給食提供を行う機能を持たし、一定の食料資材備蓄や味噌づくりなどのできる食育研修も可能な複合的センターを検討せよ。  
給食におけるアレルギー対策の現状と今後は。

**答** 給食センター改築検討  
委員会を立ち上げる

松崎教育次長

現在の野市給食センターでの改築は、許認可申請等を勘案すると、現況では三千食を下回る。他の場所での建設を含め早急に「給食センター検討委員会」を立ち上げ、保育所給食の一元化や複合施設としての機能などを新たに加えて検討する。  
アレルギー対策では、夜須給食センターで「除去食」を三食別に作っている。他では二人が弁当持参で、給食でアレルギー食物を除去して食べている。食物アレルギーは多種多様であり、すべてに対応することは難しい。

**問** 岸本・山南まちづくり  
協議会要望書の結果は

岸本地区の要望である津波避難所、防災コミュニケーションセンターの建設と進入路確保はどうなるか。

山南地区の要望である通学路危険箇所整備において、自衛隊官舎北側の市道拡幅改良と県道歩道の変更、ガードレール設置二件はどうなるか。

**答** 順次実施する

上田防災対策課長

岸本地区は南海地震対策の優先課題地域であると認識はしているが、土地利用の課題も数多く、地元の協力をいただいた。  
山南地区のガードレールの設置は、他の要望もあり予算や緊急性などを勘案して順次実施する。

久保上下水道課長

山南市道の拡幅は、地元協力状況など確認して検討する。県道歩道の変更は、市内での改良工事に引き続き、県土木に説明、要望している。



危険な歩道移動箇所・香我美町下分



ブルーベリーの収穫祭

# ブルーベリー活性化のため 施設活用を



猪原 陸議員

東川地区活性化部会は、今年  
はじめてブルーベリーの収穫祭  
を行ったが、千舞温泉の施設は

電気がつかない。

ブルーベリーの収穫は真夏な  
ので、施設を休憩所に活用した  
い。また試作食品の調理場や保  
存のために冷蔵庫を使いたいの  
で、施設の活用を望む。また、  
トイレの改修ができないか。

## 答

電気はすぐに  
対応する

久武商工  
水産課長

電気について  
はすぐ対応す  
る。また施設の  
使用については  
活用計画を具体  
的に出し、使用  
願を提出してほ  
しい。水洗トイ  
レについては観  
光ブルーベリー  
園の開園状況を  
見て検討する。

## 問

鎌井谷川の  
雑草木の撤去を

山北川の旧河川の廃川の進捗  
状況と鎌井谷川の護岸の雑草木  
の撤去は。

## 答

下流管理は地域との  
共同・委託の方向で

久保 建設課長

工事については旧山北川の護  
岸の補修、境界確定等を十一月  
中旬にかけて行い、道路工事は  
三月下旬にかけて行う予定。道  
路工事は日和崎ガソリンスタン  
ドから南側にかけて約五十メー  
トル、約二・七メートルの拡幅  
工事を行う。

山北川の道路拡幅利用以外の  
部分は、現存する四本の水路の  
流末にあたり、下流断面の確保  
を行う。

鎌井谷川の管理で、ダム堰堤  
から農道まではダム管理費の予  
算でやる。毎年除草している。  
下流については、地域との共  
同、地域委託の方向で今後話し  
合う。

## 問

建築確認に伴う後退用地  
の取り扱いは

後退に伴う用地の分筆、測量

## 答

登記などは  
市が負担

久保 建設課長

登記は市が負担するのか。用地  
代は無償だがその場合、後退部  
分の固定資産税は免除になる  
か。

後退用地は、新築・増改築等  
を行う場合に前面道路四メートル  
未満の場合は道路中心線から二  
メートル、敷地面積を後退しな  
ければならない。後退部分の用  
地の分筆、測量、登記は市が負  
担する。後退部分にかかる固定  
資産税は市税務課に本人申請に  
よって行う。課税の免除をする  
ことができる。

## 問

香我美市民館の  
老朽化の対策は

香我美市民館の冷暖房機器、  
ガス器具等、また防災計画の中  
で避難場所に指定されている  
が、耐震化はできているか。

## 答

防災対策課と  
連携で

吉田 生涯学習課長

耐震工事は他の施設との兼ね  
合いもあり、防災対策課と連携

## 問

地域の安全マップの  
制作へ取り組みを

子どもたちの目線で地域の危  
険な場所等をチェックし、事故  
に遭わないための地域安全マッ  
プの制作をするつもりはない  
か。

## 答

PTAを中心に  
危険箇所を抽出

松崎 教育次長

子どもたちの安全な環境づく  
りに関する取り組みは、市内各  
校で主にPTAを中心にして危  
険な箇所の抽出を行っている。  
子どもたち自身で危険な箇所を  
把握し、近寄らないよう指導  
し、さまざまな機会をとらえ、  
地域の安全な環境づくりに向け  
ての取り組みを行う。

# 同対事業について真相究明を



杉村正毅議員

旧赤岡町の取り扱いが、まったくでたらめであるということ、はつきりした。貸付金を、現金で渡したという処理は他にもあったか。内入れしたとされる百万円はどうなったか。一枚の小切手は、どこに金融機関で、資金決済は、どうなっているか。

また、具体的裏付けがほとんどない。不明朗な調査だ。十二月議会までに、事実確認ができる資料を示せ。

## 答 金融機関は旧赤岡農協と現土佐香美農協赤岡支所

仙頭市長

現金で渡したという事務処理は、あったと聞いている。内入れしたとされる百万円は、特別会計の償還金として、歳入で受

け入れられている。二枚の小切手は、一枚は旧赤岡町農協であり、後の一枚は土佐香美農協赤岡支所である。資金決済は、一枚目は平成四年十二月二十八日振り出しで、同日に現金化されており、二枚目は平成八年六月二十七日振り出しで、同日に現金化されている。

## 問 後期高齢者医療制度は廃止しかない

国は、小手先だけの「見直し」を繰り返しているが、国民の怒りは、七十五歳という年齢で差別する制度の構造そのものに対するものだ。破綻が、これほどはつきりしている制度に固執する道理は全くない。市長は、中止・撤回を国に求める行動を起こし、市民の命と暮らしを守るべきだ。

## 答 修正を加えながらよりよい制度に

仙頭市長

国は、低所得者への負担軽減

を図るとともに、制度を利用しやすくすることにより、制度の定着を図るために見直しを行った。始まったばかりの制度であり、修正を加えながらよりよい制度にしていく必要があると考える。

## 問 高齢者の人権を保障し人間らしい生活を

二〇〇六年度から「介護予防システム」がスタートしたが、財政ばかりが優先され、サービスが利用されにくくなっていく。社会的な支援を必要としながら、放置される高齢者が増え、格差と貧困が拡大しているのを、なんとかしてやめさせなければならぬ。生活援助の打



リフレッシュサロンで製作に励む高齢者

ち切りをやめさせ、軽度者への介護保険サービスを充実させよ。

## 答 市単独福祉サービスで援助

小松 高齢者介護課長

市では、介護保険サービスの必要性はないものの、もう少し何らかの援助が必要な方への福祉サービスとして、市単独福祉サービスの軽度生活援助や、リフレッシュサロン事業等が利用されている。また今年は見直しの年であり、軽度者への支援のあり方等検討していく。

## 問 全国学力テストは中止を現場教師と十分論議を

昨年、今年と実施された「全国学力テスト」は、全体として、競争と序列化、事業の統制等、深刻な実態を生んでいる。巨費を投じて継続しても、効果は望めない。来年の「全国学力テスト」は中止すべきだ。また、新事業の「学校支援地域本部」設置は、現場教師の負担が増えないか。

## 答 来年も協力する現場教師の負担は軽減

島崎 教育長

子どもたちの学力向上は、大きな教育課題であり、来年度も協力する。「学校支援地域本部」の設置は、事業内容例を見て、現場教師の負担を軽減し、地域の教育力の活性化が期待されると考えている。

## 問 第五十普通科連隊の構想を早急に明らかに

情報が全くないまま、協定もなしに市内を重装備で行進するなど、もつてのほかだ。協定を結ぶまでは、街中の行進等勝手に行わないよう申し入れよ。また陸自情報保全隊による、市民の監視は許せない。配置されるか。

## 答 行進訓練は自衛隊が必要な訓練

田内 企画課長

行進訓練は、必要訓練として警察等に届けて行っている。情報保全隊は数人が配置される。



# アンケート結果に基づき 諸課題を聞く



西内俊夫議員

## 問 地震対策への 取り組みは

アンケートで、自宅の地震対策が、できている二一%。予定なしが四六%。しかし災害時、最も家の倒壊が不安と答えた人が六八%。不安が対策につながらない、今後の取り組みは。

## 答 財政支援積極的に

上田 防災対策課長  
市からの、地震に対する情報が浸透していないか、意識はあっても経済的な問題で実施できないと思う。  
市・県も財政は厳しいが、市は本年度は昨年の一・二倍の予算を確保した。まず耐震診断を早急に受けてほしい。

## 問 自主防災結成 今後の取り組みは

二百八人中三六%の方が、自主防災組織を知らないと回答し

引き続き対策に対する財政支援は、積極的に実施していく。

## 答 積極的に普及 活動に取り組む

上田 防災対策課長  
「知らない」、「知っていても

「知らない」、「知っていても」のは行政の努力不足と捉えている。  
現在、全体で六五%の組織率になっている。未組織地域に対しては、支所・各自治会長に呼びかけ、色々な行事に参加してもらい啓蒙活動をしている。



防災訓練

自主防災組織は全地区民が対象になっている。本来

た。今後は、地域の自主性に任せるのか、それとも行政主導で組織作りに取り組むのか。

また、自主防災組織は、地域単位であるが、町内会へ入っていない家庭への働きかけは。

## 問 職員の応対に 厳しい声 対応は

多くの市民から、専門職の配置・職員の交流による、より充実した対応を望む声が多い。真面目に取り組んでいても、一人の不親切な発言や対応は、その職場全てとなる場合が多い。

多くの市民からの苦情にどう答え改善していくか。

## 答 市の目指す職員像を 明確にする

安井 総務課長  
意見には、大変厳しいものがある。住民が感じているさまざまなのは、職員一人一人が深く認識し、改善すべきと感じている。

職員は常に、知識・技能の習得に努め、住民から頼られ親しまれるよう、自らの資質向上に努めなければならない。

今後は、市の目指す職員像を再確認し、職員の意欲の向上を図り、能力や可能性を引き出し、組織としての総合力を高めたい。

## 問 高知大学との連携 協定その内容は

九月十二日、高知大学と、市の間で、連携事業に関する協定を結ぶと報告があった。

今、既に取り組んでいる事業との関わり、大学がどのように関わってくるのか。また、事業を進めるための財源はどうなっていくのか。

## 答 連携協議会を設置

田内 企画課長

高知大学と市が、それぞれ構築してきた知識・経験を提供し、相互に連携する。市の計画、施策などに関すること、農林水産業及び地域振興に関すること、高知大学の教育及び研究に関すること、大学に在籍する学生の地域学習及び研究課題の拡大に関することなどを連携して行う。

連携事業を推進するために市と大学で「連携協議会」を設置し、定期的に協議を行うので、今以上に連携が図れる。

経費は連携事業ごとに、両者が協議し、負担割合を決めていく。

# 消防長に責任はない 「訓告」処分は不当では



野本光生議員

消防職員給与の過払い問題が新聞等で報道され問題となったが、就職した時点から年末年始は祭日という前提で勤務し、給与が支給されてきたものであり、労働法で見た場合は正当な給与である。

この問題は、自治体の法解釈の誤りであり、職員には全く責任がない。現消防長が任務に就く以前の問題であるにもかかわらず、消防長をなぜ「訓告」処分したのか。また、処分にあたり懲罰委員会を設置し検討したのか。

## 答 消防組織の任命権者として処分

仙頭市長

交替勤務制職員の法令解釈の

誤りが原因であり、昭和四十年代の支給開始当初からの誤りであるが、現在まで放置されてきたことについて、消防組織の任命権者として責任があると考え処分をした。懲罰委員会は設置しなかつた。

## 問 職務記録を 記帳せよ

建設課や上下水道課は、長期的な事業を行っているが、事業に関する実務記録が行われておらず、担当職員が職場異動すると、それまでの経過が分からず、市民とのトラブルが多く発生している。

また、市民が意見や苦情の訴えをしても、その記録がされないが職務記録を記帳すべきだ。

## 答 周知・徹底する

安井総務課長

職務記録は、住民の要望・工

事に関するトラブルや協議内容、用地交渉の経過、面談の記録等は文書で記録し、担当者が異動しても分かるように引き継いでいるが、まだ十分にない部分もあり、職務記録の必要性を周知する。

## 問 水たまりをなくせ

佐古保育所グラウンドは、雨で土が流され水たまりができ、毎年赤土を入れているが、グラウンドの土は普通の赤土では効果が少ない。本来の専用土を導入するなどの根本的な排水対策をすべきだ。

## 答 総合的な 検討をする

岡本こども課長

雨天後に水が溜まった状況にあり、適宜赤土を入れて整備している。

## 問 駅前広場の 早期整備を

野市駅周辺は、近年交通量も増加し、来年三月には駅前東西線の烏川橋も開通の予定であり、さらに交通量の増加が予想されているが、駅の利用者がタクシーを利用するのも乗降場所もなく、利用が不便になっており早期の整備が望まれるが、整備計画をどのように考えているか。

## 答 早期整備にのぞむ

田内企画課長

市営バス・タクシー等の発着場やロータリー機能を備えた駅前整備は必要であり、交通量も増加しており用地交渉も、あと少しとなっており、早期整備に取り組む。



元気に遊ぶ子どもたち



# 県産業振興計画、本市の取り組みは



山本茂夫議員

域情報センターの活用を求める意見が出た。今後、提案された取り組みの中で早期に実現可能な事業について実行していく。

## 問 地産地消の方針は

県の、農・林・水産・商業（加工）・観光の各分野が取り組むテーマの中で、地産地消の定着を目指して活性化につなげる事が重要だと思いが、本市の方針を問う。

## 答 地場産品の情報を提供し、推進していく

現在の直販所や学校給食での地産地消だけでなく、医療・福祉や観光などの食材利用施設へ地場産品の情報を提供し、地産地消を推進する。

## 問 グリーンツーリズム事業の展開は

観光分野と連携してのグリーンツーリズムなどの事業展開に

対して、今後どのように考えていくのか。

## 答 観光協会と連携して取り組む

現在、本市観光協会を中心として旅行商品企画が計画されているので、その中にグリーンツーリズムとしての商品ができないものか、連携して取り組む。

## 問 受委託事業の新たな仕組みは

昨年、農林業公社・JA・各組織で受委託事業の統一に向けた協議を行ったが実現していない。

## 答 早急に各団体の協議を行う

新しい事業展開の模索など、本市全域をカバーする新たな仕組みを考えるべきではないか。新しい事業展開の模索など、本市全域をカバーする新たな仕組みを考えるべきではないか。

## 答 具体的な実現可能な事業から実行していく

県産業振興計画の地域アクションプラン策定に向け、市町村ごとのワーキンググループが具体策の検討・作業を進め、農・林・水産・商業・観光の各分野が連携して取り組み、具体的な案を産業成長戦略に沿って詰めていく。すでに住民座談会も行われた中でどのような意見が出されたか。今後の方向性、取り組みは。

山本 農林課長

住民座談会では、農産物の加工に取り組むべきとの意見の中で二ラの加工品など具体的な試作品も出された。

また、滞在型観光を目指し地



10周年のイベントで賑わう「あぐりのさと」

をめぐりに統一を考えている。

早い。早急に各団体の協議を行う。刈り取り料金については三年

# 生かせ、このチャンス。 就業希望の市民のために



斉藤朋子議員

全額、国の補助金で香南市に雇用創出の場を創り出す「地域雇用創造推進事業」、略称「新パツケージ事業」が採択された。最大三年間で総予算は、九千三百万円余りのソフト事業だが、実現が非常に難しいために市長自らが旗振り役になるべきだ。「雇用創造協議会」に二人の事業推進員を雇用したと聞くと、職務内容は、

また、国や県との連携や協力体制は、

## 答 国・県との関係機関と連携、協力体制を図る

久武 商工水産課長

職務内容は、事業の企画・実施にかかる事務、事業の実施状況の確認、実施結果のとりまとめや関係行政機関及び関係団体との連絡調整である。

各セミナー及び研修内容については、関係機関や市内の各団体と順次打ち合わせ中。内容の濃いセミナー等にもなった講師、各団体からの推薦による講師選定を考えている。

求人企業の情報収集等を随時行い、セミナー受講者等に、ホームページや機関誌等で、情報を発信し、セミナー修了時には、ハローワーク香美の協力で、受講者を集め、合同面接を予定。協力体制は、事業計画段階から、高知労働局、高知大学、県雇用労働政策課、協議会構成員等と打ち合わせをしており、

今後も連携や協力体制を図ってゆく。

## 問 市立図書館へ正規の司書を

読書環境の整備と充実について

三点問う。野市・香我美の市立図書館は、現在嘱託だが、正規の司書を置くべきではないか。また、読書ボランティアの養成や研修の必要性と、すでに設置済みの組織への支援をどう考えているか。そして香南市の保・幼・小・中の子どもの読書活動状況と今後の課題は。

## 答 今後の施設の運営と関連させ検討

吉田 生涯学習課長

現在、野市に一人、香我美に二人の嘱託の司書がいる。正規と能力の差はないが、勤務日数が月十六日と制限されている。人員配置については今後の施設の運営と関連させて検討したい。

また、県立図書館を核とした各地域の読書ボランティア組織の交流会や、技術の向上を目指すスキルアップ研修会等を開催したい。組織の思いを大切に自

主性を尊重した支援を行っている。

## 答 活動してない保育所へもボランティアを

松崎 教育次長

小中学校全校共通の取り組みとして毎日、十分間程度「読書の時間」を設けている。保育所・

幼稚園・小学校には地域ボランティアが読み聞かせに行ったり、小中学校では親子音読会・読書感想文コンクールへの参加等にも取り組んでいる。課題は、活動してない保育所等へ読み聞かせボランティアに入ってもらふことである。



赤岡小学校での読書ボランティアによる読み聞かせ



# 文書の保管状況について



野島利英議員

年金記録の喪失の問題や、個人のノートパソコンからの公共機関のデータ流失が問題となっている。

文書の保存、整理、管理の状況は。

将来の文書管理への取り組み、また、新庁舎にスペースを取るのか。

年々増加する文書の保存管理の場所として、また埋蔵文化財の整理、取り壊す南庁舎に入居している事務所の移転先として、津波の心配もない旧香我美庁舎を残せないか。

## 答 合併時に文書管理システムを導入

安井 総務課長

文書の管理は合併時に文書管

理システムを導入し、文書の収受から決裁、分類、簿冊管理まで一貫して行っており、処理の完了した文書は、各課において保存管理している。

香南市の情報管理に関するセキュリティポリシーを策定しており、これにより規制管理している。データの持ち出しは原則禁止となっており、保管は企画課情報推進係で行っている。

将来の文書管理はペーパーレスを進め、分類を確実にし、情報公開に対応できる管理をしていきたい。

文書管理は、旧富家公民館を利用する。なお、入りきらない場合は、みどり野倉庫や旧白岩荘も利用する。



## 問 消防庁舎の建設について

構想と建設に向けてのスケジュールは。

## 答 二十三年度完成を目標

岡崎 消防長

今議会終了後に建設委員会を立ち上げる。二十三年度末の完



早急な改築が望まれる消防庁舎(仮眠室)

成を目標とし、現在の消防署のある敷地内に建てる。

## 問 収納課の取り組みについて

債権回収にあたっての、各担当課との連携方法の現状は。

## 答 第一係、第二係で対応

村山 収納課長

収納課は市税や国保税を担当する第一係と、介護保険料や下水道料、保育料、住宅使用料などを担当する第二係で組織している。

第二係では本年四月から五月にかけて担当課と打ち合わせを行い、担当課の業務は現年のみの滞納とし、収納課は過年度の滞納を担当するようにした。

保育料や介護保険料などは、財産調査を行い、差し押さえ処分を行う。公営住宅では支払督促や明け渡し等の法的処分を取るため、担当課と定期的に協議している。

# 行政改革大綱・集中改革プランの推進に取り組み



中元源一議員

行政評価制度を構築導入し、P D C A マネージメントをどのように確立するのか。

**答** 平成二十二年度に実施したい

安井 総務課長

P (計画・目標)、D (実行・実践)、C (評価・検証)、A (改善・改革) サイクルのC (評価) で、事業の必要性や効果的に実施できたなどの評価を行う制度である。二十二年度に実施したい。外部評価も研究中である。

**問** P F I も導入するのか

P F I 手法の導入を検討するところがあるが、事業予定はあるのか。

**答** 導入の可能性を検討

光明院 財政課長

P F I の導入には、メリット・デメリットがある。市においては、今後、施設の建て替えを行う場合には、先進例も参考にし、選択肢の一つとして考える。

**問** N P O 等の連携を図れ

地域団体 N P O 等との連携の

推進が、市民との協働のまちづくりに、必要ではないか。

**答** 今後とも協議、支援を行う

田内 企画課長

地域の自治会などと意見交換や N P O やボランティアセンターと協議し、市民と協働のまちづくりを推進する。今後とも、協議支援を行う。

**問** 職員適正化計画の見直しは

職員適正化計画では、五年間で三十三人(七・二%)しか削減されない。住民から職員の数が多いのではないかという意見が多い。計画を見直す考えはないか。

**答** 今後必要に応じて実施する

安井 総務課長

総務省の指針では、「四・六%を上回る純減」を示され、本市では、七・二%である。見直しは、退職者、機構改革及び国の権限委譲の状況等を考慮し、見直しを実施する。

**問** 人事評価制度の確立を推進せよ

トータル的な人事管理システムとし、人事評価、人材育成、職員の処遇、そして、配置・異動システムの連携・総合的な対応が必要である。従来のような年功序列でなく、その職員の能力業績評価を考慮することが重要である。どのように推進するのか。

**答** 二十二年度から実施

安井 総務課長

人材育成推進委員会を組織し協議してきた。本年は、制度の構築、二十一年度に行き、二十二年度の実施予定である。

**問** 「水産振興協会(仮称)の設置はしないのか

十八年、十九年九月定例会で、その趣旨等を説明し、十九

年十一月までに設置すると答弁があったが、設置する考えはあるのか。

**答** 設置に向けて考える

仙頭 市長

漁業者の所得向上、生計維持の観点から、関係者や関係団体と協議を進め、少し時間をいただき、設置したい。



長太郎貝の出荷作業に励む漁師さん



# 保・幼・小・中各機関の アレルギー対策への取り組みは



森本恵子議員

アレルギー疾患の子どもたちがここ数年増加傾向にある。また国民の三人に一人は何らかのアレルギーをもっているといわれている。文科省の検討委員会では全国の公立小・中・高校を対象に実態調査を実施、その結果に基づき、学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインを作成、全国学校や教育委員会に配布しアレルギー疾患のある子どもたちを学校や園でどのように支えていくのかその取り組みを促している。本市においても例外ではなく、特に食物アレルギーの子どもは全国で三十三万人、重いアナフィラキシーの症状を起こす子どもは一万八千三百人いるといわれている。このようなアレルギー対策につ

いて本市の実態と課題そして今後の対策は。

## 答 ガイドラインを活用し 適切な指導を実施する

松崎教育次長

本市におけるアレルギーをもった子どもの現在把握している人数は保育所四十人、幼稚園二十五人、小学校では未集計の学校もあり、確認している人数は六十九人、中学校百十人。現状のアレルギーの内容では、鼻炎、喘息、アトピー性皮膚炎などが多く、食物アレルギーでは牛乳、乳製品、卵が多い傾向にある。課題は児童生徒数の多い学校ではきめ細かな対応ができていく。今後はガイドラインを活用し、学校・保護者・関係機関が連携し最新の知識に基づいた適切な指導を行っていく。

## 問 病児・病後児保育 の実施は

若い共働き世帯、核家族世帯にとつて、子どもが急に病気になることも会社を休めないなどマニユアル通りにはいかない現状がある。合併前の野市町次世代育成支援計画でのアンケート調査結果では、病児・病後児保育がこの一年間で必要な状況にあった家庭は約九〇%、父母が仕事を休むことが非常に困難四七%、シヨートステイ約四〇%との結果が出ていた。このような現状を踏まえて今後の対策は。

## 答 医師会や医療機関等 に協力依頼を検討

岡本こども課長

県内の保育所で病後児を預かっている保育所は、六市村八施設あるが、そのうち五施設は民間の病院施設内に開設されている保育所で預かっている。それ以外の三園では医療機関の協力により実施している。本市では、施設面等で病後児保育ができる環境ではない。今後は医師会や医療機関に協力依頼を検討する。

## 問 「赤ちゃんの駅」 のスペースを

野市町次世代育成支援行動計画のアンケート調査でも「子どもと外出する際に困ること」の項目別で「トイレがおむつ替えなど親子での利用に配慮されていない」が二二%となっていた。赤ちゃんを連れて外出した場合、安心しておむつを替えたり授乳などができる場所の設置が必要では。

## 答 今後公共施設などを 建築する際には検討する

岡本こども課長

現在市内の公共施設でベビースートの設置は十カ所、建築中の赤岡市民館にも設置する。なお、ベビースートと授乳室を備えている公共施設は、場所の確保が困難。



フジグラン野市に設置されている赤ちゃんルーム

## 赤岡市民館（児童館）の 運営体制について



志磨村公夫議員

管理運営は、人権課が、教育委員会が。現在の運営状態はどのようなものか。今後の人的体制を含む運営責任は。

**答** 一こども課と協議  
早急に結論

福井 人権課長

十九年度の管理は人権課で行い、運営は子ども課で行った。二十年度においては、市民館が改築のため、児童館の運営はできてないが、赤岡小学校長と協議し、夏休みに関しては学校開放をした。冬休みに関しては同様である。二十一年度以降の管理運営については、子ども課と協議を行っている。早急に結論をだし、体制を整えていきたい。

**問** 住宅の減免制度の見直しについて

現在ある要綱の見直しをするとのことであったが、いつまでに完了するか。

**答** 二十一年度より実施

北岡 住宅都計課長

「香南市営住宅家賃減免及び徴収猶予取扱要綱」見直し（案）を本年の十一月頃までに作成し、議員全員協議会で説明し、二十一年四月より実施したい。

**問** 危機管理について

危機管理マニュアルを策定したが、赤岡市民館解体工事中の灯油流出事故では、一切できてなかった。このような対応で危機管理が機能するのか。この事故で明らかになった問題点及び反省点を明らかにせよ。

**答** 安全確認の意識の薄さと通報の遅さが問題

福井 人権課長

八月八日午後五時頃、赤岡市民館解体工事中、油タンクから灯油が漏れ香宗川に流入した事



赤岡市民館の起工式

故で、発注者（香南市）、設計業者、請負業者ともに、危険物である灯油タンクに対する安全確認の意識の薄さや、被害を被る関係団体への通報の遅れ等が問題であった。反省点は、灯油

タンクの中の灯油の有無の確認を怠ったために発生したもので、もし海にまで流出していたら一番被害を被る漁業者（漁協）に対する連絡が遅れたことである。今回の反省点にたった危機管理体制の強化・充実に努めていく。

**問** 教育行政について

通学路危険個所の点検と緊急時（地震・台風・集中豪雨等）の体制はどうか。

**答** 「危機管理に関するマニュアル」で対応している

松崎 教育次長

市内のほとんどの学校でPTA等が中心となって危険個所の点検等が行われ、改善要望が関係各課に出され、その都度補修や要請を行っている。緊急時の体制は、全ての学校で「危機管理に関するマニュアル」を作成し、これに基づき対応している。子どもの安全を第一にした対応と、冷靜的確な判断により危険回避をすることを心がけていく。

# タバコ禁止条例の策定を



西内治水 議員

タバコの害は四種類に大別される。ニコチン〓血流悪化・依存・中毒症状、タール〓細胞をガン化、一酸化炭素〓細胞の酸欠、微細粒子〓咳・痰、副流煙の害、吸う人より周囲の人に害がある。肺ガンで死亡する七割以上が喫煙者。一日五十本以上吸う人は十五倍、二十本吸う人も、吸わない人の六倍肺ガンになる。不快に感じる行為、タバコ関係が五〇%以上。タバコ税収二億一千万円弱だが、経済効果はマイナス。高度高額医療費上昇の主要因。市民の健康増進、高額医療費抑制、青少年の健全な育成等のために、委員会によるタバコ禁止条例の策定を求める。

## 答 広報・ケーブルテレビで啓発を

田内健康対策課長  
庁舎内は排気装置のない屋内は禁煙。市民館、図書館等の施設は室内禁煙。教育施設は

若干の差はあるが同様。市営バスは規定していないが、喫煙はしていない。条例は現時点で考えていない。しかし、啓発を、広報、ケーブルテレビでしている。イベント会場も禁煙・分煙に取り組む。また、健康被害の知識の普及・啓発・未成年者の禁煙も指導する。

## 答 徐々に条例策定方向に

仙頭市長  
受動喫煙の防止や喫煙者に、禁煙、離煙の働きかけをして、徐々に条例策定方向に進みたい。

## 問 市内の基幹産業の救済を

基幹産業（農・漁業）の補助支援を。五年間で重油は三倍、資材（肥料・農薬含む）は高騰、農産品、漁獲魚は安値安定、漁業の経営は危機的状況にある。土佐清水市の燃料費補助を参考に緊急支援を。

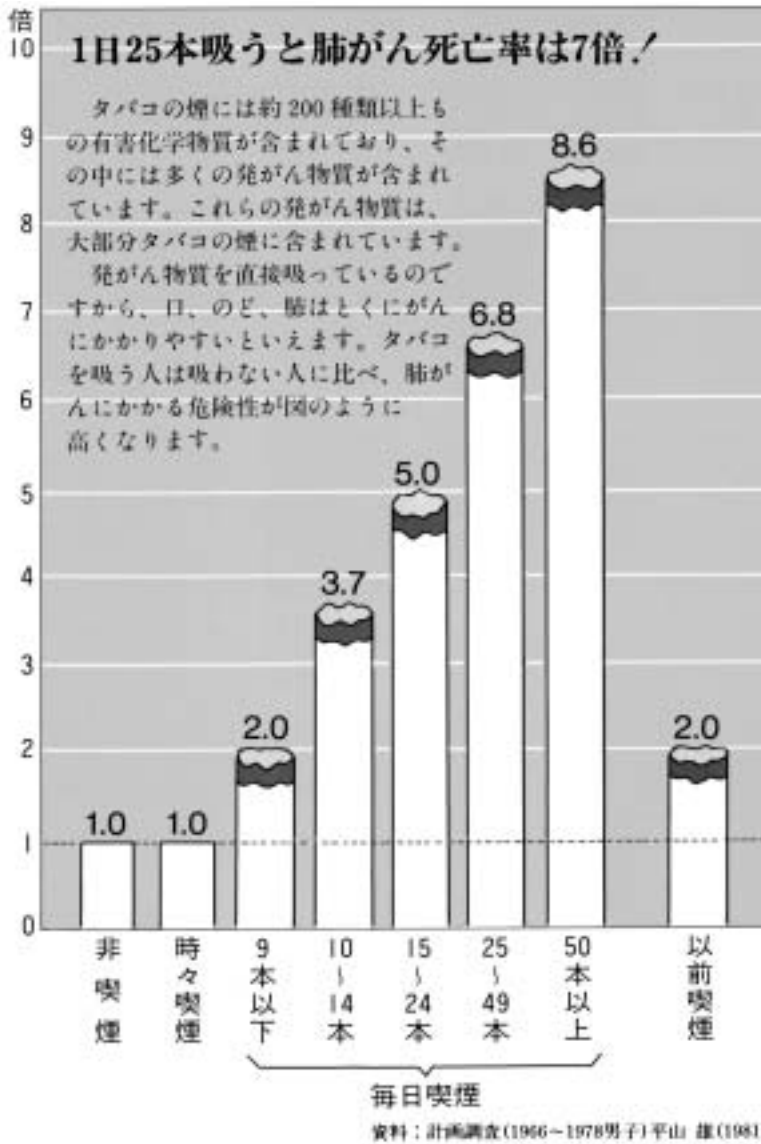
## 答 基幹産業の危機に対応

山本農林課長  
県単事業で保温効果を高め、油使用料の削減施策を実施している。

国も肥料、燃油高騰対応緊急実証事業の財源確保の報道もある。肥料、燃油高騰分の一部補填等については、関係機関と連携を密にし、基幹産業の危機に対応する。

## 答 燃油対策を検討する

久武商工水産課長  
土佐清水市の補助を参考に、今後関係部署と連携して燃油対策を検討する。





# 埋蔵文化財問題 市の責任は重大だが、県・国との協働が必要



山崎 朗議員

遺跡発掘調査の報告書が十一件も未作成である。市の責任は

重大だが、人的・財政的支援など根本的な県・国との協働のあり方を提起すべきではないか。

**答** 早期に報告書を作成県にも支援を要望

吉田 生涯学習課長

県埋蔵文化財センターなどの指導を受け、年次計画を作成し



香我美町の遺跡発掘現場

実施していた。今後、職員の人的配置、遺物の展示場所など総合的に検討し、報告書作成に取り組む。また、県教育委員会にも市町村への支援など強く要望する。

**問** ケーブル更新事業の進捗状況は

重要事業である香南ケーブルテレビ更新事業の進捗状況を問

う。この事業の採択・不採択は市政の情報化や企業誘致などに大きな影響を与える。採択される見通しはあるか。

**答** 一事業は採択された他の事業にも最大限努力する

田内 企画課長

ケーブル光化更新事業は公共間を整備する地域インターネット基盤施設整備事業と他のケーブル網の光化を整備する地域情報通信基盤整備推進交付金の二つを計画している。昨日、地域インターネット事業採択の内示があった。今後地域情報通信事業も採択に向け最大限努力する。

**問** 地域雇用に全力を振り組み体制の強化を

地域雇用創造推進事業（三年計画・九十六人の雇用創出）が国に採択されたが、推進体制の強化を図るべきではないか。

**答** 二人の推進員を雇用担当課と連携を図る

久武 商工水産課長

二人の事業推進員を雇用したが、求人企業の情報収集やセミナーのとりまとめなど重い負担が想定される。商工水産課と連携を図り、一緒に事業を進める。

**問** 地域要望は事業と一体化させて解決を

工業団地造成事業に伴う県道改良や山南川改修などの地元要望は、この事業と一体化させて解決すべきだ。要望を区分けする取り組みは地元に行政不信を招く。県とどう交渉していくのか。

**答** 市だけでは解決できない県への要望書を出す

久武 商工水産課長

県との協議には市長や各担当

課が出席して積極的な意見を出す。地元要望は重要問題と認識している。市だけでは解決できないので、議会の意見も聞き県へ要望書を提出する。

**問** 住民生活保全のため自衛隊との協定書づくりにより全力で取り組み

坂出市や松山市の演習場を視察したが、迫撃砲縮射弾訓練や射撃訓練には強い衝撃を受けた。また、香美市にまで至る行軍訓練が行われたが、協定書づくりへの取り組みがない中で、このままでは既成事実化されていく。住民生活や環境保全の協定書づくりについてどう取り組むのか。

**答** 詳しい情報を求め必要な協定を結ぶ

田内 企画課長

自衛隊と協議を行い、演習場の使用について、詳しい情報を早い時期に明らかにするよう要望する。また、住民の方に説明会などを積極的に行い、高知演習場に必要協定を結ぶ。



十月二十三日(木)から二十五日(土)の日程で東根市消防署(山形県東根市)、地域防災土育成事業・自主防災組織(同南陽市)、PFIによる給食センター建設(同上市市)とJA直販所「よってけボラ」(同東根市)の視察研修を行った。

PFIとは:  
プライベート・ファイナンス・インシアティブ。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法



東根市消防署

### 東根市のPFIによる 消防庁舎建設について

民間業者が提案してきた設備や施設を視察した。施設的设计建設から維持管理まで一括発注であったが、資本力のある企業でないと受注は困難である。また、この方式では契約業務が非常に重要であり、市の担当課には高度な知識と行動力が求められる。香南市の消防庁舎建設はこの方式は取らないが、PFI導入のメリットやデメリット、また行政との関わり合いなどを研修した。

### 南陽市の地域防災士 育成事業・自主防災組織 体制について

防災士とは社会の減災・防災に対し、十分な知識・経験・技能・意識を有するものとして、現在NPO法人日本防災士機構が認証する資格であるが、将来は国が認定する「国家資格」を目指す制度である。

同市では四人が認定を受け、将来は十六カ所すべての地域に配置するよう取り組んでいた。ただ、災害発生リスクが少ないためか自主防災組織率は七三・四%であり、また組織設立時の補助金や活動費も出されていない。

今後は、防災士を軸に自主防災組織の育成・充実を目指している。

### 上市市のPFIによる 給食センター建設について

建物の建設と給食配送業務をPFIで行っていた。しかし、建設後の維持管理を含んでいないため、調理機材の更新や修繕などが今後の課題となっている。PFIは建設費等の支払額の平準化が可能なため、今後、財政力が低下した場合は一つの方法である。老朽

化した他の施設への導入については今後検討が必要である。

### JAさくらんぼびがしね 直販所の運営について

香南市の直販所と比較して、施設が大型で、しかも地域に密着した事業を展開しており、客数も大変多く感じられた。観光・農業振興のためにも今後JAと連携して検討するべきでないか。運営責任者の熱意あふれる説明が印象的であった。



JA直販所「よってけボラ」(東根市)

## 審議した議案

### 九月議会の審議結果

専決処分報告について  
 専決処分の報告について  
 専決処分の報告について  
 健全化判断比率の報告について  
 資金不足比率の報告について  
 人権擁護委員候補者の推薦について  
 人権擁護委員候補者の推薦について  
 (以上異議なし)  
 水道事業会計決算認定について  
 工業用水道事業会計決算認定について  
 (以上全員賛成=認定)  
 債権管理条例について  
 市立保育所条例の一部を改正する条例について  
 損害賠償の額の決定及び和解について  
 新たに生じた土地の確認について

字の区域の変更について  
 新たに生じた土地の確認について  
 字の区域の変更について  
 新たに生じた土地の確認について

字の区域の変更について  
 新たに生じた土地の確認について

字の区域の変更について  
 新たに生じた土地の確認について

字の区域の変更について  
 新たに生じた土地の確認について

一般会計補正予算(第三号)について  
 (以上全員賛成=可決)

国民健康保険特別会計補正予算(第二号)について  
 (賛成多数=可決)

介護保険特別会計補正予算(第二号)について  
 (以上全員賛成=可決)

簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)について  
 (以上全員賛成=可決)

後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第二号)について  
 (賛成多数=可決)

市内電気工事業者の受注機会の拡大について産業建設常任委員長の報告  
 (賛成多数=不採択)

専決処分報告について  
 専決処分の報告について  
 市議会委員会条例の一部を改正する条例について  
 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求

める意見書の提出について  
 介護保険制度の改善を求める意見書の提出について  
 (以上全員賛成=可決)

専決処分報告について  
 専決処分の報告について

市議会委員会条例の一部を改正する条例について  
 国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求



## 編集後記



今年も、あとわずかになってきました。香南市のあちらこちらから、秋祭りのホラ貝や太鼓の音が聞こえ、子どもたちの笑顔を見ると平和を感じます。  
 アメリカでは金融危機で経済悪化に歯止めがかからない中、大統領選でオバマ氏が、人種の壁を乗り越え圧勝しました。彼は「変革」しなければならぬと約束し、トップになりましたが、我が国のトップは、いつ決まるでしょうか。  
 トップといえば、横綱白鵬を囲む会を催しました。白鵬が六年前赤岡の合宿に参加していたときは、序二段でした。今は大相撲のトップであり喜ばしいことです。  
 さて、私たち六人がこの度、九号から十二号までを編集することになりました。六人話し合っ、特に文章の要約見出しに工夫して一生懸命努めますので、「意見・ご指導をお願い致します。」